

YMCA News



世界標準の視点に立った地域との連携を目指して



盛岡YMCAに集う関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年となるようお祈り申し上げます。

さて、盛岡YMCAのメンバーらは、昨年後半からSDGs(エスディージーズ)についての学びを始めています。SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。骨格となる17の目標の中にはバランスの取れた経済成長や自然環境保護、多様性や人権の重視、働き方の問題など、人類が歴史の蓄積の中で勝ち取ってきた普遍的な価値が世界中で共有されるべきものとして掲げられています。既に、各国政府や企業も施策や経営戦略に取り入れています。私たちは、地方で活動する小さなNPO団体に過ぎず、もちろん、こうした壮大な目標すべてに取り組むことはできません。

しかし、盛岡YMCAは、すべての子どもが社会から取りこぼされるなく、かけがえのない一人として尊重される社会を目指して育成に当たってきました。地味な部分ではあっても、SDGsの最も根幹部分の一翼を担ってきたものと自負しています。私たちの地域には、私たちがカバーしきれないSDGsの目標領域で、工夫や努力を重ねている他のNPO団体や企業、自治体も少なくないと思います。

今後は、そうした他団体とも積極的な情報共有を図り、協働しつつ、地域に貢献していきたいと考えています。本年も、皆様のご支援をお願いします。

盛岡YMCA 理事長
うおずみ ひであき
魚住 英昭



盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2018年11月23日、盛岡市の大通りを中心に、国際協力街頭募金を行いました。今年もプログラムメンバー、社会人リーダー、大学生ボランティアリーダー、高校生、ワイズメンズクラブスタッフ等YMCAに様々な形で関わる方々が集まり、総勢63名の参加者。その内、高校生以下が40名と、活気に溢れたメンバーで募金活動を行いました。

その活気そのままに、街頭に立ち募金への協力をお願いしたり、本部で温かい昼食を作り活動を支えてくれたりと、参加者一人ひとりが他者のために力を注いでいました。

今回の募金で集まった額は184,047円となり、いただいた募金の益金は、日本YMCA同盟を通して、

- 1 カンボジアYMCA 子ども支援
- 2 ネパール地震被災地支援
- 3 東エルサレムYMCA パレスチナ難民支援

等のために使われます。募金活動当日は、今季最大級に冷え込むとされた日でした。そのような中、足を止め、募金をしてくださった方々に、心より感謝致します。

誰かのために頑張る私たちも、誰かの支えがあって初めて頑張れる事が出来ています。一人ひとりが誰かに支えられていると同時に誰かの支えになっている事を、一人でも多くの方が感じてもらえたら幸いです。

街頭募金は終了しましたが、国際協力募金は3月末まで行っています。引き続き、皆様のご理解と温かいご支援を、何とぞ宜しくお願いいたします。

国際協力担当 小川嘉文



スマイルスキーキャンプ報告

こんにちは! ボランティアリーダーのチーズです。今回は、スマイルスキーキャンプについて報告させていただきます。スマイルスキーキャンプは、初めてスキーをする子どもたちを中心にしたキャンプで、12月15日(土)～16日(日)の1泊2日で行われました。

今回は、参加は11人でいつもより人数が少ないキャンプとなりましたが、人数が多い少ないではなく、これまでのキャンプに比べ、子どもたちの笑顔がたくさん感じられたキャンプとなりました。行きのバスの中では、つよぼんリーダーのいじわるクイズに頭を抱えたり、歌を歌ったりと盛り上がり、あっという間にスキー場へ到着! いよいよスキーの始まりです。

重いスキー板を抱え、履き慣れないスキーブーツで歩きながら、なんとかゲレンデに到着です。にぼしリーダーの美声に合わせて元気よく体操。そのあとはスキーグループに分かれ、それぞれスキーを楽しみました。子どもたちの内の一人はスキーから戻ってくると、リーダーから「上手だねって言われたよ!」と嬉しそうに伝えに来てくれました。ナイトプログラムは、みんなリーダーの掛け声のもと、グループ対抗ゲーム大会が始まりました。子どもたちは、たくさん騒ぎ満足している姿が見られました。2日目も、スキーを一日中堪能し、滑りまくった2日間でした。2日間を通して、「スキーが出来るようになった!」という声を、たくさん聞くことが出来たことはもちろんですが、何よりその笑顔を見ることが出来たことが本当にうれしかったです。

2018年盛岡YMCAウィンターキャンプ一発目にふさわしい、笑顔あふれるキャンプとなりました。

盛岡大学4年 小野寺保乃香(チーズリーダー)



▲ ナイトプログラムの様子



ユースボランティアフォーラム報告



こんにちは!つくしです。今回、第31回ユースボランティアフォーラムに参加し、「今、ユース・ボランティア・リーダーに求められるもの」について、他のYMCAのユースボランティアリーダーと共に考えてきました。

「人の振り見て我が振り直せ」ということわざがある通りに、他のYMCAの活動やリーダーの姿を見たり、講演会や話し合いを通して、盛岡YMCAや自分の現状や将来について、深く考えることが出来ました。

私のグループには、子どもの頃からメンバーとしてYMCAに関わっていて、大学生になりリーダーとなった1年生がいました。リーダー1年目とは思えないほど、自身に満ち溢れ堂々としている姿に、私はすごいと思うと同時に、少し悔しさを感じました。

しかし話を聞いてみると、子どもとの関わり方の中で、私と同じような悩みを抱えていることを知り、どこのYMCAでも悩むこと、考えること、大事にしていることは変わらないことに気が付きました。

たくさんのリーダーと、悩みや自分たちの居場所であるYMCAのこれからについて考えることで、自分や今を見つめ直すいい機会になりました。長い歴史があるYMCAだからこそ、枠にとらわれすぎず、柔軟な発想で活動に取り組んでいくことが大切だということにも気が付きました。

盛岡のYMCAはまだまだ大きくはありませんが、その中でも人と人との関りを大切にし、共に成長するという貴重な機会を提供できるYMCAであることは、誇りに思えることだと自信に繋がりました。今回得た自信や発見を盛岡のリーダーや活動、盛岡YMCA全体に還元できるように、精一杯活動に取り組んでいきたいと思っています。

岩手大学2年
鈴木凜奈(つくしリーダー)



全国YMCAリーダー研修会報告



こんにちは!YMCAニュース初登場のラフです!私は、10月6日から8日に行われた、全国YMCAリーダー研修会に参加してきました。全国各地の仲間たちと様々な話ができて、とても充実した時間となりました。

この研修会で、私が得たものは大きく2つあります。今回は、そのうちの1つについて、書いていきたいと思います。

私は、2年生になってから、ある悩みを抱えていました。それは、自分と盛岡YMCA、どちらを優先させるかという悩みです。「自分としては、今の活動量で満足している」「でも、盛岡YMCAのことを考えたら、もっと色々な活動に行くべきでは」「子どもに、自分のことだけではなく、みんなのことを考えてと声をかけるけれど、自分はそれができているのか」などなど...。このような葛藤を私は抱えていました。この悩みを研修会でぶつけてみたところ、「自分の成長と全体の成長と一緒に出来ないの?」という答えが返ってきました。

この言葉を聞いて、私は自分の悩みが二者択一でないことに気づきました。自分が行く活動だけでも、意識すれば全体へ何かを還元することは可能だということです。私は今、盛岡YMCA内での繋がりを意識して、行動しています。

仲間たちと手を取り、繋がっていれば、私が一步成長した時に、みんなも一緒に引っ張ることが出来ます。逆に、私が手を引いてもらって成長する場合もあるでしょう。まさに「みつかる・つながる・よくなっていく」です。この気づきが私の学びです。

これからは、たくさんの人と手を取り合って、一緒に笑って泣いて、失敗して成功して、成長していこうと思います。

岩手大学2年
笹川大地(ラフリーダー)



YMCA大会報告



私は、11月23日～25日に行われた、日本YMCA大会に参加してきました。「すべてのYがつながる日」と題し、ユース世代だけでなくいつもは話す機会が少ないシニア世代とも、グループワークやテーマ別でのセッションを通し、多くの人と繋がることが出来た3日間でした。私は、盛岡以外のYMCAについて意識したことが少なく、他のYMCAがどこにあって、いくつあるのかですら、知らない状況でした。また、盛岡と他のYMCAとでは、別物であると思っていました。

しかし、グループワークやテーマ別のセッションでは、盛岡で話すのと同じように、自分の言いたいことが言え、朝の集いや夜の懇親会、キャンプファイヤーでは、活動を何度も共にしたリーダーのように、心の底から楽しむことが出来ました。初めて会った人たちにも、本当の自分を出せるというのは、簡単なことではないと思いますが、YMCAを通すことで出来るというのは、YMCAの良さであり、強みではないかと改めて感じました。

私は、YMCAの活動に足が進まず、少し悩んでいた時期がありました。自分が何に悩み、どうして足が進まないのかですら分からない状況でした。こんなことは、今までで初めてでした。そんな時にこのYMCA大会があり、自分が何に悩みどうして悩んでいたのか、少しだけわかったような気がしました。

年齢や経験、立場の違いで感じた驚きや発見、自分の思いや経験の浅さを感じたことよりも、自分がどうして悩んでいたのか分かったことが、個人的には一番の収穫だったと思っています。このYMCA大会で感じたことを、盛岡のリーダーたちに伝えるまでがYMCA大会だと思うので、みんなにしっかりと伝えていきます。

岩手大学2年
前田隼輔(ガルベスリーダー)





ポジティブネット③

つぎの私が待ち遠しい。

腕時計で有名なシチズンのコピーである。全米オープンテニスで優勝した大坂なおみ選手の写真とともに、下の文章が昨年9月新聞広告に掲載された。

時間はいつも未来に向かう、
いま、この瞬間を力いっぱい生きることが、
あたらしい自分をつくってゆく。
1秒を積み重ねるように、一歩ずつ。
つぎの私が待ち遠しい。

偉大なことを成し遂げた大坂選手に対してさらなる飛躍の可能性を感じさせるぴったりの表現だと思う。

しかし、彼女ほどではないにしても、平凡な日常を繰り返している僕たちの生活の中にも些細なチャレンジは隠されているはずだ。ズボラで自分勝手な僕を例にすると、机の周りを整頓したり、電気を小まめに消したり、相手のことを批判する前にその人の置かれた状況を充分に考えるようにしてみたりなど、数えきれない多くのチャレンジがある。

その全てを克服することはできないが、その中で一番簡単なひとつでも克服してみるとほんの少し自信が湧いてくる。そして昨日の自分よりちょっと良くなった自分を見つめると、明日以降の私がどんなふうになって行くかが楽しみになって来るはずだ。それは10代、20代はもちろん80代になっても、90代になっても変わらないことのように思える。こうした名もない市民、一人ひとりの小さな勝利の積み重ねが公正で平和な社会を作っていくんだ!!

愛する者たち、わたしたちは、今既に神の子ですが、自分がどのようになるかは、まだ示されていません。しかし、御子が現れるとき、御子に似た者となるということを知っています。なぜなら、そのとき御子をありのままに見るからです。

新約聖書 ヨハネの手紙1 3章2節

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

日本でメンバーも考えた⑤



自分は、毎年のキャンプをすごく楽しくしているが、子どもたちの流行りについていけず、子どもたちに何を話しかけたらいいのか、さっぱり分からない。最近では、何人かの子どもに対し自分一人でグループを持つが、大学1年生の時、初めてのキャンプで先輩リーダーがいてくれたお陰で、すごく心強かったことを思い出す。

去年のサマーキャンプ、一人でグループの子の面倒を見たり、お世話をしたりすることは初めての経験で、正直たくさん不安を抱えた。育ってきた環境の違いもあり、子どもたちと共通の話題を作ることが出来なかった事が、印象に残っており、面倒を見るだけではどこか物足りなさを感じた。

また、周りのリーダーと見比べてみると、リーダーと呼ばれる資格があるのかと悩み、キャンプ終わりに一人でよく反省した。しかし、キャンプはいつも魅力的で、子どもたちと自然を満喫できる場所づくりの他、他人のために行動することや、思いやりの心を養うことが大切だということを、子どもとリーダーから教わる事が出来たことは、自分にとって大きな収穫となった。

文化の違いがある中、子どもとリーダーたちは、自分を仲間として受け入れてくれ、感動に満ちている。YMCAと出会う前までは、自分さえ良ければ全て良いという自己中心的な考えだった。しかし今では、話をするときや行動を起こす時には、他の人の気持ちを第一優先に出来るようになってきた。

ふと考えると、自分は、考え方や行動が「日本化」されていく外国人なのかもしれない。

(予告)次はYMCAとの関わり以外の驚いた事情について話したいと思いますので、お楽しみに!



(写真) 初めての宮古キャンプ前日にボランティアセンターに宿泊してはまちゃんに連れていってもらった浄土ヶ浜の一番お気に入りの日の出。

岩手大学3年 オンホーイン
(メンバーリーダー)

感謝

(2018年度12月28日現在) 敬称略

●維持会員

熊谷大樹、工藤直子、今松桂子、熊谷太吉、崎陽、水田賢次、大関靖二、阿部深雪、光永尚生、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、名古屋恒彦、名古屋理恵、植田一茂、戸貞文、高橋友恵、熊谷力實、尾形裕一郎、伊藤信彦、田村治之、川坂保宏、澤田優実、北田仁則、北田アユ子、古澤伸、武田理恵子、鶴丹谷三千代、高橋廉翔、人見晃弘、菊地弘生、重石桂司、高瀬彦彦、千田汐里、工藤悦子、家村知佳、滝川佐渡子、小笠原邦夫、遠藤昌樹、清水治彦、上中優奈、今野聖子、今野健男、林辰也、森山日菜乃、森山幹大、佐藤隼人、工藤あさひ、工藤誠太、佐藤洋一、中島敬泰、小野寺大介、魚住恵、神田橋慧一、山口貴伸、濱塚有史、濱塚真美、高橋奈菜、押切梓、齋藤之彦、南原良哉、小林茂元、伊藤真一、伊藤みどり、小川嘉文、小川明佑、伊藤真太郎、伊藤愛美、松尾聡子、中原真澄、日語教会、島田茂、佐藤翔、中村圭二、小山憲彦、角谷晋次、水野暢夫、澤田鉄平、井上浩太郎、井上優子、井上修三、宮崎幸雄、浅沼慧、浅沼美希、大塚英彦、晴山浩輔、尾張幸久、小守林靖一、東森聡、武田理恵子、魚住英昭、秋永光里、杉田深雪

●寄附金

今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、濱塚秋二、濱塚れい子、増田隆、高橋友恵、熊谷力實、伊藤信彦、中原真澄、角谷晋次、潮田祐、晴山浩輔、斎藤優太、藤原祐三、尾張幸久、小守林靖一、武田理恵子

表紙の写真から



昨年12月、内丸教会で開催されたスバルクラスの様子。老若男女、時を忘れてリーダーが企画したゲームに熱中し、心のそこから笑っている様子が印象的でした。



最新情報はこちらでチェックできます! 「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ  : <https://www.moriokaymca.org/>

facebook  : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>